

工事特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

- ・工事名 公共下水道会之堀川第一幹線（R8）整備工事
- ・工事箇所 春日部市中央六丁目外地内

(共通事項)

第3条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、本工事に係る再生資源利用〔促進〕計画書を作成し、施工計画書に含め、各1部提出する。また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、再生資源利用〔促進〕実施書を作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○ 再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事

- ① 1,000m³以上の土砂を搬入する工事
- ② 500 t以上の砕石を搬入する工事
- ③ 200 t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④ 最終請負金額100万円以上の工事

○ 再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事

- ① 1,000m³以上の建設発生土を搬出する工事
- ② アスコン塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200 t以上搬出する工事
- ③ 最終請負金額100万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステム」に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票を監督員に提示すること。

(建設発生土の搬出)

第4条 建設発生土の受入地は、下記のとおり予定しており、受入地までの運搬距離を仕様書によるものとする。

○ 処分土

受入地：改良プラント「榊春日部資材（春日部市下大增新田地内）」

※ 受注者は、別の改良プラントを選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

○ 処分土（浚渫土（液状））

受入地：改良プラント「東武商事㈱（春日部市北葛飾郡松伏町田島東地内）」

※ 受注者は、別の改良プラントを選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

（建設廃棄物の再資源化等）

第5条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材廃棄物を再資源化のための施設に搬入する場合は、適切な施設としなければならない。なお、特定建設資材廃棄物とは、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）が廃棄物となったものである。

2 受注者は、契約前に作成した「分別解体等の計画等」を施工計画書に添付して提出するものとする。

3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、発注者に報告しなければならない。

- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づき再生資源利用〔促進〕実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。

4 受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

（再生資材の利用）

第6条 下記の再生資材を、備考欄の部分に利用すること。

資材名	規格	備考
再生切込砕石	40mm以下	路盤材、基礎砕石等
再生粒度調整砕石	40mm以下	路盤材
再生密粒アスコン	20mm以下	表層等
再生砂		埋戻し

なお、現場から40kmの範囲の再資源化のための施設から供給が困難な場合は、新材への設計変更の対象とする。

（工程管理）

第7条 本工事は、供用されている（都）武里内牧線（市役所通り）での施工であり、施工中も道路を通行止めにするにはできないため、仮設道路を築造し、1車線を通行規制により施工とすることとなるので、工程に配慮すること。また、会之堀川および豊武川の渇水期での施工となることも配慮すること。

（法定外の労災保険の付保）

第8条 受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

(情報共有システムの活用について)

第9条 「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」第3条第1項に基づき、情報共有システムを活用すること。

実施にあたっては、「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」に基づくものとするので予め市のウェブページを参照すること。

<https://www.city.kasukabe.lg.jp/soshikikarasagasu/keiyakukensaka/gyomuannai/2/3/29511.html>

(週休2日制モデル工事)

第10条 本工事は、春日部市「週休2日制モデル工事（閉所型）」の試行対象工事である。試行の実施は、春日部市「週休2日制モデル工事」試行要領によるものとする。試行要領は、春日部市ホームページで確認のこと。

春日部市ホームページ

https://www.city.kasukabe.lg.jp/jigyoshamuke/nyusatsu_keiyaku/seidogaiyo/24053.html

工事施工の安全管理等に関する特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、工事箇所の特異性を鑑み、工事を安全に進めるために特に必要な事項を定めるものとする。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

工 事 名 公共下水道会之堀川第一幹線（R8）整備工事

工事箇所 春日部市中央六丁目外地内

(騒音・振動への配慮)

第3条 受注者は、近接する住宅地に対する騒音・振動に配慮し、建設機械等には低騒音・低振動のものを使用することとする。

(交通規制への配慮)

第4条 市道1-2-2号線は、日中の交通量が多く慢性的に渋滞が発生する道路である。工事の施工にあたっては、道路の切り回し等、事前の施工計画を入念に行い、交通規制は最小限に留めることとする。

(同時期に実施される他工事との調整)

第5条 本工事の工事範囲内、及び工事範囲付近においては、以下の工事が同時期に計画されているため、他工事との錯綜を防止するとともに、事業間の調整を十分に図り、工事を工期内に安全に完遂するために必要な処置を講ずることとする。

(1) 本工事の工事範囲内で行われる工事

- ・ガス管移設工事（株式会社エナジー宇宙）
- ・水道管移設工事（春日部市水道部工務課）
- ・電柱・電線移設工事（東京電力・NTT）
- ・道路工事（春日部市建設部道路建設課）

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

工 事 名 公共下水道会之堀川第一幹線(R8)整備工事
工事場所 春日部市中央六丁目外地内

(濁水の処理)

第3条 受注者は、回収した濁水を適切な処理を行わなければならない。

なお、本工事における設計図書では、下記の施設で処理することを想定しているが、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

種類及び処理量	汚泥（油分を含む汚泥）、0.11m ³
中間処理施設	北葛飾郡松伏町地内、東武商事株式会社
処理方法	中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）

※上記は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

(共通事項)

第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

(提出書類)

第5条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第4条第2項及び第3項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストを監督員に提示しなければならないものとする。

(その他)

第6条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

函渠布設数量計算書

R8工区

工事数量総括表

工事名	函渠布設工						事業区分		
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(今回)		数量(変更)		数量増減	摘要
				設計数量	設計計上数量	設計数量	設計計上数量		
函渠布設工									
土工(会之堀川)									
土工									
床堀	バックホウ0.6m3	m3	1798.1	1800					
埋戻	再生切込砕石	m3	216.2	220					
埋戻	再生砂	m3	398.3	400					
発生土処理	第三種	m3	608.8	610					
発生土処理	第四種	m3	1189.2	1190					
布堀土工									
床堀	バックホウ0.2m3	m3	33.6	30					
埋戻		m3	33.6	30					
山留工(会之堀川)									
矢板圧入引抜工									
鋼矢板圧入	ハット形25H 12.5m	枚	117.0	117					
鋼矢板圧入	ハット形25H 13.0m	枚	127.0	127					
鋼矢板撤去	ハット形25H 1.0m	枚	118.0	118					
鋼矢板撤去	ハット形25H 1.5m	枚	118.0	118					
鋼矢板撤去	ハット形25H 1.55m	枚	6.0	6					
鋼矢板撤去	ハット形25H 2.53m	枚	5.0	5					
鋼矢板撤去	LSP-II型 0.61m	枚	15.0	15					
鋼矢板スクラップ		t	35.95	36					
油圧式杭圧入機据付、解体	60tハット形	回	1.0	1					
油圧式杭圧入機据付、解体	100tハット形	回	2.0	2					
鋼矢板全損	ハット形25H	t	351.83	352					
鋼矢板切断	ハット形25H・LSP-II型	枚	262.0	262					
鋼製支保工									
切梁、腹起し設置・撤去		t	61.19	61.2					
鋼材運搬	往復	t	59.24	59.2					
管きよ布設工(会之堀川)									
管きよ製品費									
管きよ製品費		式	1.0	1					
管きよ布設工									
ボックスカルバート布設工		m	104.2	104					
管きよ基礎工									
マットレス基礎		m	104.2	104					
基礎コンクリート	24N/mm2	m3	183.4	183					
鉄筋加工組立	D13	t	6.09	6.1					

工事数量総括表

工事名	函渠布設工						事業区分	
							工事区分	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(今回)		数量(変更)		数量増減
設計数量				設計計上数量	設計数量	設計計上数量		
管理人孔工								
管理人孔		箇所	3.0	3				
蓋及び受枠	φ600、T-25	組	2.0	2				
蓋及び受枠	φ600、T-14	組	1.0	1				
転落防止梯子	H=2.0m以上	個	3.0	3				
調整金具	調整高45mm	個	3.0	3				
調整リング	φ600×150	個	6.0	6				
足掛金物	B=300	個	21.0	21				
付帯工								
既設構造物撤去工								
コンクリート矢板切断		m	92.2	92				
コンクリート取壊し	有筋 機械施工	m ³	66.1	66				
コンクリート取壊し	有筋 人力施工	m ³	82.6	83				
Co殻運搬処分	有筋	m ³	148.7	149				
フェンス撤去		m	92.2	92				
高欄撤去		m	16.7	17				
スクラップ		t	1.4	1.4				
現場発生品運搬処分		t	1.4	1.4				
掘削		m ³	81.0	81				
埋戻		m ³	81.0	81				
舗装版切断	5cm	m	9.0	9				
舗装版取壊し	5cm	m ²	85.4	85				
As殻運搬処分		m ³	3.4	3				
鋼矢板圧入		枚	43.0	43				
鋼矢板引抜		枚	43.0	43				
油圧式圧入引抜機振付・解体		回	1.0	1				
切梁・腹起し設置撤去		t	3.5	3.5				
鋼材運搬		t	6.8	6.8				
既設水路切断		m	28.5	29				
濁水運搬処分		m ³	0.01	0.01				
既設橋台切断		m	12.4	12				
舗装版復旧		m ²	70.0	70				
仮排水工								
水替えポンプ		箇所	1.0	1				
仮締切		箇所	1.0	1				
浚渫工								
堆積土吸引工								
吸引		m ³	70.2	70				
吸引土処分		m ³	70.2	70				

土工計算書 (会之堀川)

側 点	床堀 (第3種)				側 点	床堀 (第4種)			
	距 離 (m)	断面積 (m2)	平 均 断面積	土 量 (m3)		距 離 (m)	断面積 (m2)	平 均 断面積	土 量 (m3)
No. 45 +5.060	0.000	7.2			No. 45 +5.060	0.000	12.8		
No. 46	14.940	5.2	6.2	92.6	No. 46	14.940	12.7	12.7	189.7
No. 47	20.000	5.3	5.3	106.0	No. 47	20.000	13.4	13.0	260.0
No. 48	20.000	5.3	5.3	106.0	No. 48	20.000	11.0	12.2	244.0
No. 48 +12.480	12.480	4.5	4.9	61.2	No. 48 +12.480	12.480	13.9	12.4	154.8
No. 48 +12.480	0.000	9.5	7.0	0.0					
No. 49 +5.238	12.758	9.5	9.5	121.2					
No. 49 +5.238	0.000	4.5	7.0	0.0	No. 49 +5.238	0.000	13.9	7.0	0.0
No. 50 +0.000	14.762	5.1	4.8	70.9	No. 50 +0.000	14.762	13.7	13.8	203.7
No. 50 +10.000	10.000	5.1	5.1	51.0	No. 50 +10.000	10.000	13.7	13.7	137.0
					浚渫				
					No. 48 +12.480	0.000	5.5	2.8	0.0
					No. 49 +5.238	12.758	5.5	5.5	70.2
合計	104.940			608.8	合計	104.940			1189.2

側 点	埋戻(再生切込碎石)				側 点	埋戻 (再生砂)			
	距 離 (m)	断面積 (m ²)	平 均 断面積	土 量 (m ³)		距 離 (m)	断面積 (m ²)	平 均 断面積	土 量 (m ³)
No. 45 +5.060	0.000	1.9			No. 45 +5.060	0.000	4.0		
No. 46	14.940	1.8	1.9	28.4	No. 46	14.940	3.3	3.6	53.8
No. 47	20.000	1.8	1.8	36.0	No. 47	20.000	3.4	3.3	66.0
No. 48	20.000	1.9	1.9	38.0	No. 48	20.000	4.4	3.9	78.0
No. 48 +12.480	12.480	1.9	1.9	23.7	No. 48 +12.480	12.480	3.7	4.0	49.9
No. 48 +12.480	0.000	3.3	2.6	0.0	No. 48 +12.480	0.000	4.0	3.9	0.0
No. 49 +5.238	12.758	3.3	3.3	42.1	No. 49 +5.238	12.758	4.0	4.0	51.0
No. 49 +5.238	0.000	1.9	2.6	0.0	No. 49 +5.238	0.000	3.7	3.9	0.0
No. 50 +0.000	14.762	2.0	1.9	28.0	No. 50 +0.000	14.762	4.2	3.9	57.6
No. 50 +10.000	10.000	2.0	2.0	20.0	No. 50 +10.000	10.000	4.2	4.2	42.0
合計	104.940			216.2		104.940			398.3

布掘土工計算書 (会之堀川)

側 点	床掘				側 点	埋戻			
	距 離 (m)	断面積 (m ²)	平 均 断面積	土 量 (m ³)		距 離 (m)	断面積 (m ²)	平 均 断面積	土 量 (m ³)
1次施工 No. 45 +5.060	0.000	0.32			No. 45 +5.060	0.000	0.32		
No. 46 +0.000	14.940	0.32	0.3	4.8	No. 46 +0.000	14.940	0.32	0.3	4.8
No. 47 +0.000	20.000	0.32	0.3	6.4	No. 47 +0.000	20.000	0.32	0.3	6.4
No. 48 +0.000	20.000	0.32	0.3	6.4	No. 48 +0.000	20.000	0.32	0.3	6.4
No. 49 +0.000	20.000	0.32	0.3	6.4	No. 49 +0.000	20.000	0.32	0.3	6.4
No. 50 +0.000	20.000	0.32	0.3	6.4	No. 50 +0.000	20.000	0.32	0.3	6.4
No. 50 +10.000	10.000	0.32	0.3	3.2	No. 50 +10.000	10.000	0.32	0.3	3.2
合計	104.940			33.6	合計	104.940			33.6

函渠土留工 (会之堀川)		
項目	計 算 式	数 量
左岸側	(上流延伸長) L = 103.100 + 2.000 =	105.1 m
右岸側	(上流延伸長) L = 103.100 + 2.000 + 9.000 =	114.1 m
左岸側	n = 105.1 / 0.9 =	117 枚
右岸側	n = 114.1 / 0.9 =	127 枚
鋼矢板圧入(左岸側)		
ハット形25H 12.50m	n = 117 =	117 枚
鋼矢板圧入(右岸側)		
ハット形25H 13.00m	n = 127 =	127 枚
鋼矢板撤去(左岸側)	既設鋼矢板撤去	
ハット形25H 1.00m	n = 103.1 / 0.9 + 3 =	118 枚
鋼矢板撤去(右岸側)	既設鋼矢板撤去	
ハット形25H 1.50m	n = 103.1 / 0.9 + 3 =	118 枚
鋼矢板撤去(河川内)	鋼矢板撤去	
ハット形25H 1.55m	n = 6 =	6 枚
鋼矢板撤去(河川内)	既設鋼矢板撤去(前年度施工分)	
ハット形25H 2.53m	n = 5 =	5 枚
鋼矢板撤去(河川内)	既設鋼矢板撤去(前年度施工分)	
軽量鋼矢板LSP-II型 0.61m	n = 15 =	15 枚
スクラップ(左岸側)		
ハット形25H 1.00m	W = 118 * 1.00 * 113.0 / 1000 =	13.334 t
スクラップ(右岸側)		
ハット形25H 1.50m	W = 118 * 1.50 * 113.0 / 1000 =	20.001 t
スクラップ(河川内)		
ハット形25H 1.55m	W = 6 * 1.55 * 113.0 / 1000 =	1.051 t
スクラップ(河川内)		
ハット形25H 2.53m	W = 5 * 2.53 * 113.0 / 1000 =	1.429 t
スクラップ(河川内)		
軽量鋼矢板LSP-II型 0.61m	W = 15 * 0.61 * 14.8 / 1000 =	0.135 t
	合計 =	35.950 t
油圧式杭圧入機据付、解体	左岸側施工	
60 tハット形	N = 1 =	1 回
油圧式杭圧入機据付、解体	右岸側・河川内施工	
100 tハット形	N = 2 =	2 回
鋼矢板全損(左岸側)		
ハット形25H 12.50m	W = 117 * 12.50 * 113.0 / 1000 =	165.263 t
鋼矢板全損(右岸側)		
ハット形25H 13.00m	W = 127 * 13.00 * 113.0 / 1000 =	186.563 t
	合計 =	351.826 t
鋼矢板切断		
ハット形25H・軽量鋼矢板LSP-II型	n = 118 + 118 + 6 + 5 + 15 =	262.00 枚

水路製品一覧 (会之堀川)

種別	細別	規格	単位	数量	備考
		標準			
2連ボックスカルバート	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	19	T-25標準
	TSKJ付 リフトローラー用	側壁開口φ340 B(3500+3500)*2000*1500	本	1	〃
		頂版開口φ600 半穴N=2			(足掛金物を含む)
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	2	〃
	TSKJ付 リフトローラー用	頂版開口φ600 半穴N=2 B(3500+3500)*2000*1500	本	2	〃
		短尺			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*930	本	1	〃
		短尺 連結金具n=8			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*930	本	1	〃
		PC縦締め			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	18	〃
		PC縦締め (定着品)			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	18	〃
		オス側可とうゴム溝			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	1	〃
		メス側可とうゴム溝			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	2	〃
		PC縦締め (定着品) 側壁開口φ280			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	1	〃
		PC縦締め (定着品) 側壁開口φ330			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	1	〃
		PC縦締め (定着品) 側壁開口φ390			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	1	〃
		PC縦締め (定着品) 側壁開口φ400			
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	1	〃
		PC縦締め (定着品) 頂版開口φ600 半穴N=2			(足掛金物を含む)
	TSKJ付 リフトローラー用	B(3500+3500)*2000*1500	本	1	〃
		PC鋼棒 Φ19 B種 1号			
		L=2990	本	144	
		アンカープレート・ナット・ワッシャー			
		110*110*22	組	288	
		カップラー	個	144	

グラウンドセルマットレス工数量集計表

10m当り

種 別	細 別		単位	数量	備 考
グラウンドセル マットレス工					
		設置幅5.540m			
	グラウンドセル	MPタイプ	m ²	184.3	ロス率20%
		設置幅3.260m			
		MP-5タイプ	m ²	30.7	ロス率20%
	連結材	セルジョイント	セット	480	
		ポリプロピレン			
	吸出し防止材	長繊維不織布 t =2mm	m ²	211.9	ロス率5%
	樹脂アンカーピン	□20×300	本	42	下部3本
		設置幅8.760m×高さ0.40m			
	中詰材(砕石)	RC-40	m ³	39.4	土量変化率10%

グラウンドセルマットレス工数量計算書

「グラウンドセル」

	設置幅(m)		セル延長(m)		層階		面積(m ²)	マットレス高(m)
1ブロック A1=	7.680	×	10.000	×	2	=	153.6	0.40m
2ブロック A2=	1.280	×	10.000	×	2	=	25.6	0.40m
合計							<u>179.2</u>	m ²
	設置幅(m)		面積(m ²)		ロス率			
	7.680 (MPタイプ)		153.6	×	1.20	=	184.3	m ²
	1.280 (MP-4タイプ)		25.6	×	1.20	=	30.7	m ²

「連結材」

	横断方向		列(接続数)		延長方向		列(接続数)
1ブロック	0	×	0	+	120	×	4
						=	480
							セット
			※ N =		480		セット

「吸出し防止材」

算式 (周長m+横断方向ラップ幅m×ラップ幅m)(周長:マットレス幅×高さ)

A1=	(18.72+0.5) × (0.1×5 + 10.000)	=	201.8	m ²
			※ B =	
	201.8	×	1.05	=
				211.9
				m ²

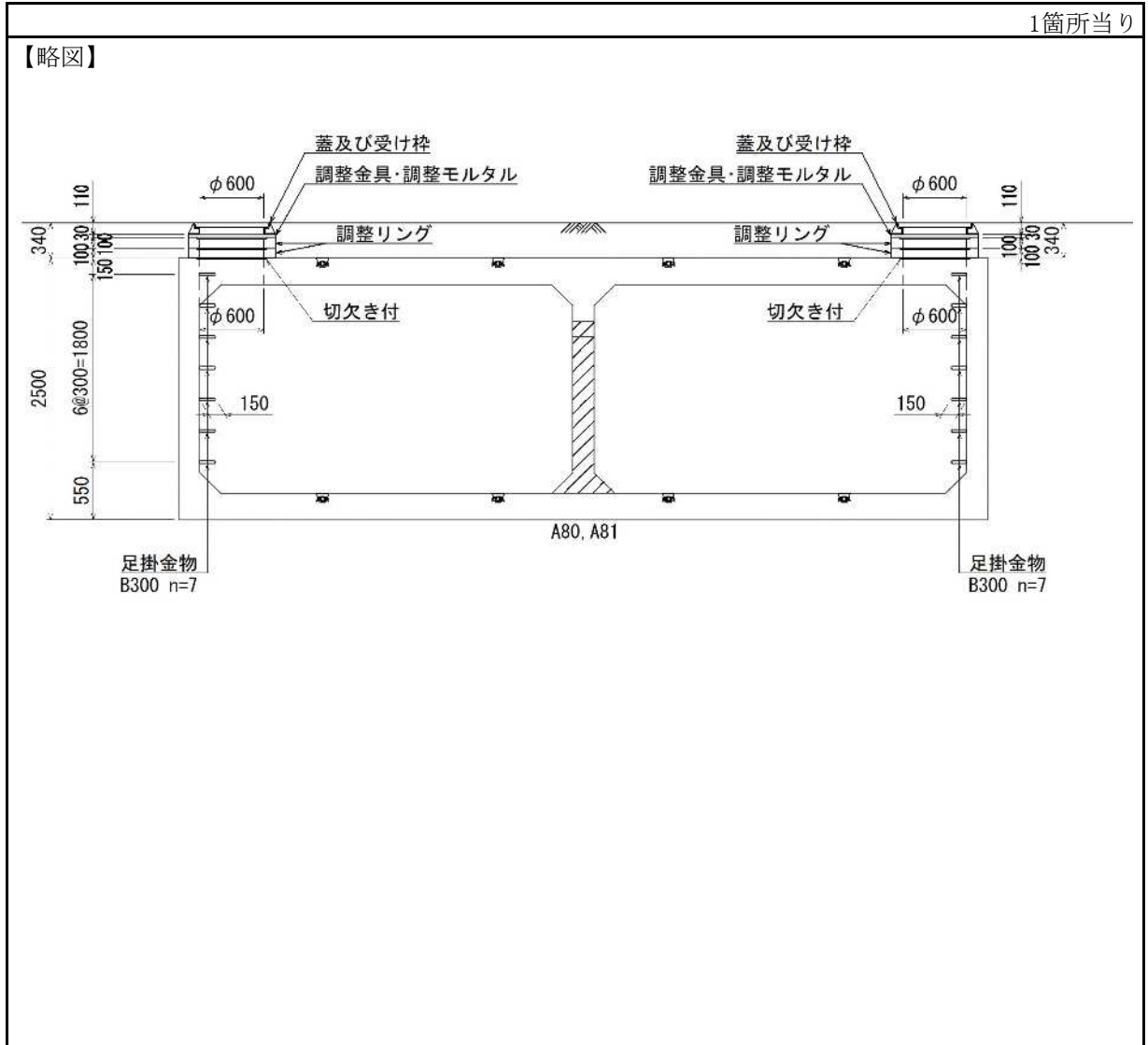
「樹脂アンカーピン」

	起終点ラップ数		上下段(本/箇所)
1ブロック N1 =	7	×	6
		=	42
			本
	※ N =		42
			本

「中詰材」

	マットレス幅(m)		マットレス高(m)		設置延長(m)		
1ブロック N1 =	8.960	×	0.400	×	10.000	=	35.8
							m ³
			※ V =				
			35.8	×	1.10	=	39.4
							m ³
			(1層当り t=20cm、		面積	179	m ²)

管理人孔工 計算書



項目	計算式	数量
管理人孔	$n = 3$	3 箇所
蓋及び受け枠	車道部 $\phi 600$ 、 T-25	2 組
	歩道部 $\phi 600$ 、 T-14	1 組
転落防止梯子	H=2.0m以上	3 個
調整金具	調整高45mm	3 個
調整リング	$\phi 600 \times 100$	6 個
足掛金物	$n = 7 \times 3$ (両側)	21 個 (製品代に含む)

4. 付帯工集計表

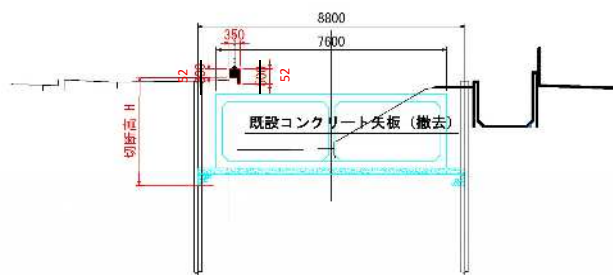
工種	種別	細別	規格	単位	数量	備考
付帯工						
	既設構造物撤去工	コンクリート矢板切断		m	92.20	
		コンクリート取壊し	有筋 機械施工	m ³	66.10	
		コンクリート取壊し	有筋 人力施工	m ³	82.60	
		Co殻運搬処分	有筋	m ³	148.70	
		フェンス撤去		m	92.20	
		高欄撤去		m	16.70	
		スクラップ		t	1.40	
		現場発生品運搬処分		t	1.40	
		掘削		m ³	81.00	
		埋戻		m ³	81.00	
		舗装版切断	5cm	m	9.00	
		舗装版取壊し	5cm	m ²	85.40	
		As殻運搬処分		m ³	3.40	
		鋼矢板圧入		枚	43.00	
		鋼矢板引抜		枚	43.00	
		油圧式圧入引抜機据付・解体		回	1.00	
		切梁・腹起し設置撤去		t	3.50	
		鋼材運搬		t	6.80	
		既設水路切断		m	28.50	
		濁水運搬処分		m ³	0.01	
		既設橋台切断		m	12.40	
		舗装仮復旧		m ²	70.00	
	仮排水工	水替えポンプ		箇所	1.0	
		仮締切		箇所	1.0	

付帯工 計算書(1)

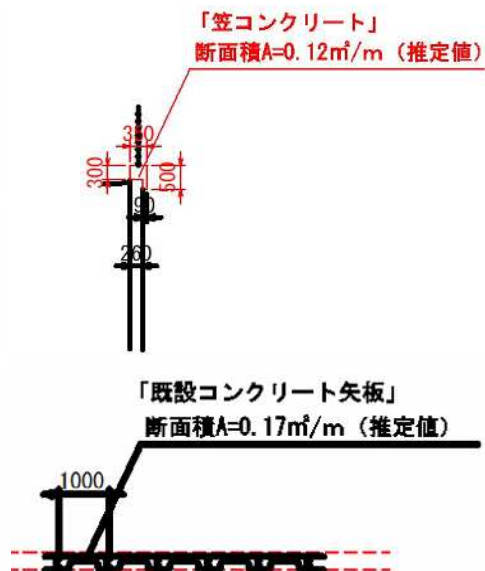
既設コンクリート矢板撤去工

コンクリート矢板(溝形)

【略図】



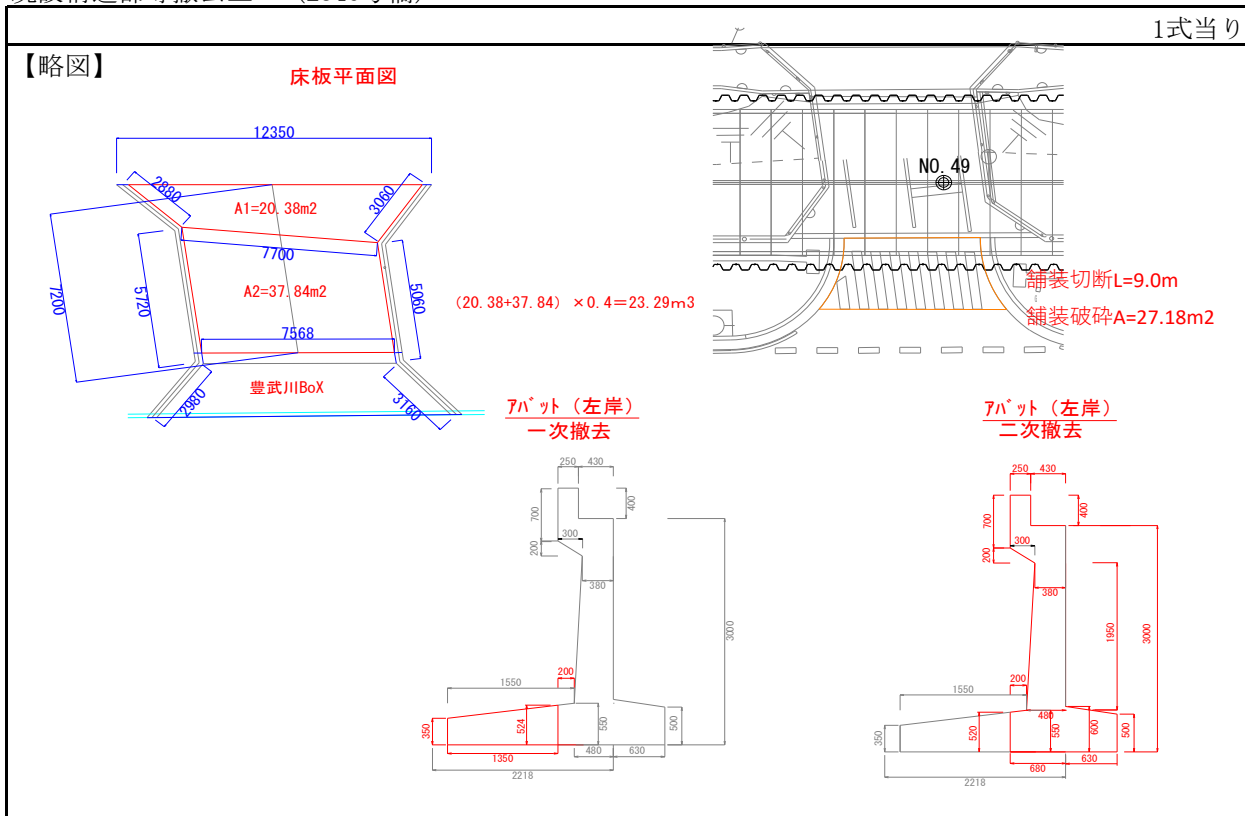
測点	切断高 H	備考
No. 39+3.845	3.48m	(土工図より測定)
No. 40	3.48m	
No. 40+11.634	3.48m	
No. 41+0.064	3.58m	
No. 41+2.524	3.58m	
No. 39+3.845	3.56m	
No. 42+4.974	3.56m	
No. 42+11.899	3.57m	
No. 43+6.635	3.57m	
No. 44+16.635	3.55m	
No. 45+4.160	3.55m	



項目	計算式	数量
コンクリート矢板切断	厚さ30cm以下 $L = 90.160 + 2.000 = 92.16 \text{ m}$	
切断高(平均)	(別紙計算) $H = 3.51$	$= 3.51 \text{ m}$
コンクリート取壊し	笠コンクリート (有筋) m^3/m $A = 92.16 \times 1.00 \times 0.12 = 11.06 \text{ m}^3$	
Co殻運搬処分 (有筋)	既設コンクリート矢板 (有筋) t/m^3 $A = 92.16 \times 3.51 \times 0.17 = 54.99 \text{ m}^3$	$= 66.05 \text{ m}^3$
フェンス撤去工	$L = 90.160 + 2.000 = 92.16 \text{ m}$	
スクラップ	$W = 92.2 \text{ m} \times 0.0108 \text{ t}/\text{m} = 1.00 \text{ t}$	

付帯工 計算書(2)

既設構造部等撤去工 (E346号橋)



項目	計算式	数量
	舗装厚 t=50mm	
舗装版破碎	$A = 20.38 + 37.84 + 27.18$	= 85.40 m ²
As殻運搬処分	$V = 85.40 \times 0.04$	= 3.42 m ³
人力取り壊し	床版厚 t=400mm	
床版撤去	$V = 85.40 \times 0.40$	= 34.16 m ³
一次撤去・人力取り壊し		
橋台(左岸)	$V = (0.35 + 0.52) \times 0.50 \times 1.35 \times 12.35$	= 7.25 m ³
二次撤去・人力取り壊し		
橋台(左岸)	$V = (0.52 + 0.55) \times 0.50 \times 0.2 \times 12.35$	= 1.32 m ³
	$V = 0.48 \times 0.55 \times 12.35$	= 3.26 m ³
	$V = (0.60 + 0.50) \times 0.50 \times 0.63 \times 12.35$	= 4.28 m ³
	$V = (0.38 + 0.48) \times 0.50 \times 1.95 \times 12.35$	= 10.36 m ³
	$V = (0.38 + 0.68) \times 0.50 \times 0.2 \times 12.35$	= 1.31 m ³
	$V = (0.70 \times 0.68 - 0.40 \times 0.43) \times 12.35$	= 3.75 m ³
	合計 =	24.28 m ³
既設橋台切断		
ウォールソー50cm	$L = 12.35$	= 12.35 m
添架水道管撤去	$W = 12.00 \text{ (m)} \times 12.20 \text{ (kg/m)} \div 1000$	= 0.15 t

付帯工 計算書(2)

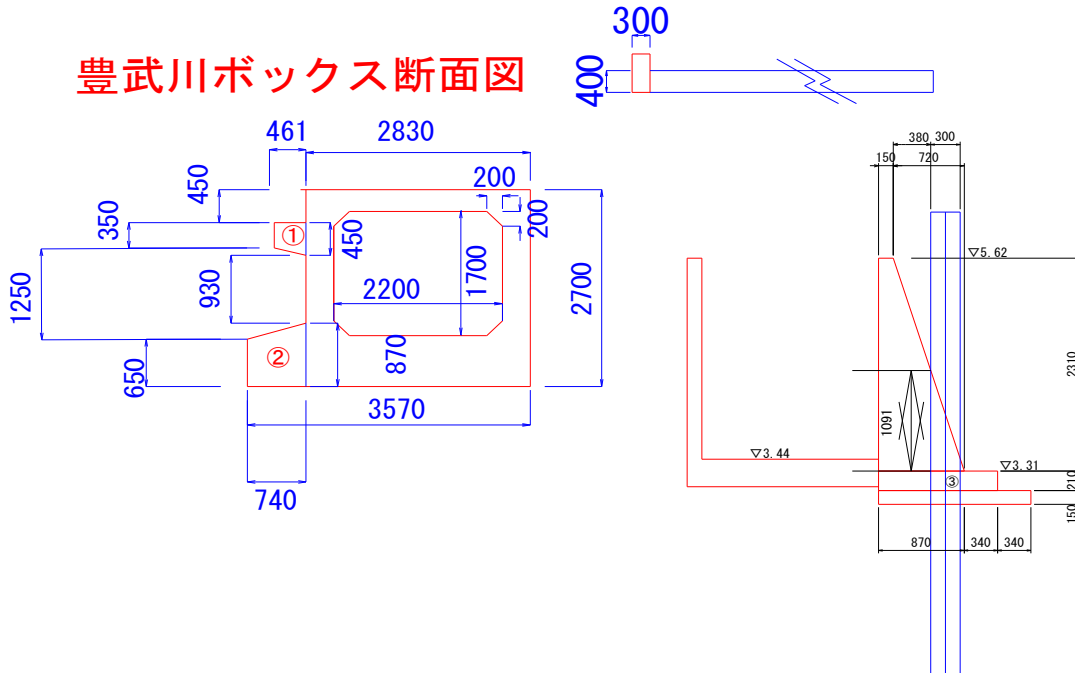
既設構造部等撤去工 (E346号橋)

1式当り

【略図】

地覆断面図

豊武川ボックス断面図



項目	計算式	数量
人力取り壊し 橋台(右岸)	$V = (0.35 + 0.45) \times 0.50 \times 0.46 \times 8.05 =$	1.48 m ³
	$V = (0.65 + 0.87) \times 0.50 \times 0.74 \times 8.05 =$	4.53 m ³
	合計 =	6.01 m ³
地覆撤去	$V = 0.30 \times 0.4 \times 16.72 =$	2.01 m ³
ガードレール撤去(高欄)	$L = 16.72 =$	16.72 m
既設水路切断	豊武ボックス桁かかり①およびフーチング②	
ウォールソー45cm	$L = 2.00 \times 3 + 7.50 \times 1 +$	
	$7.50 \times 2 =$	28.50 m
人力取り壊し 既設水路	$V = 0.44 \times 2.00 + (0.56 + 0.50) \times 7.5 =$	8.84 m ³
Co殻運搬処分 (有筋)	$V = 34.16 + 7.25 + 24.28 + 6.01 + 2.01$	
	$+ 8.84 =$	82.55 m ³
スクラップ	$W = 16.72 \text{ (m)} \times 16.40 \text{ (kg/m)} \div 1000 + 0.15 =$	0.42 t
舗装版切断	$L = 9.00 =$	9.00 m
舗装仮復旧	$A = 7.00 \times 10 =$	70.00 m ²

付帯工 計算書(2)

既設構造部等撤去工

項目	計算式	数量
	鋼矢板II型L=6.5m	
鋼矢板(圧入)	$N = 43.00 =$	43.00 枚
	鋼矢板II型L=6.5m	
鋼矢板(引抜)	$N = 43.00 =$	43.00 枚
鋼矢板賃料	kg/m 日数	
鋼矢板II型L=6.5m	$W = 43.00 \times 6.5 \times 48 \div 1000 \times 30 =$	402.48 t
油圧式圧入引抜機据付・解体	$N = 1.00 =$	1.00 回
山留材 主部材		
腹起し		
H-300*300*10*15	$W = 13.00 \times 2 \times 100 / 1000 =$	2.600 t
切梁		
H-300*300*10*15	$W = 1.00 \times 2 \times 100 / 1000 =$	0.200 t
		2.800 t
山留材 副部材(A)	$W = 2.800 \text{ t} \times 0.22 =$	0.616 t
山留材 副部材(B)	$W = 2.800 \text{ t} \times 0.04 =$	0.112 t
切梁・腹起し 設置・撤去	$W = 2.800 \text{ t} + 0.616 \text{ t} + 0.112 \text{ t} =$	3.528 t
鋼材運搬		
往路	$W = 2.800 \text{ t} + 0.616 \text{ t} =$	3.416 t
復路	$W = 2.800 \text{ t} + 0.616 \text{ t} =$	3.416 t
掘削	布堀 $V = 14.00 \times 1.60 \times 3.4 + 0.32 \times 15 =$	80.96 m3
埋戻	$V = 80.96 =$	80.96 m3

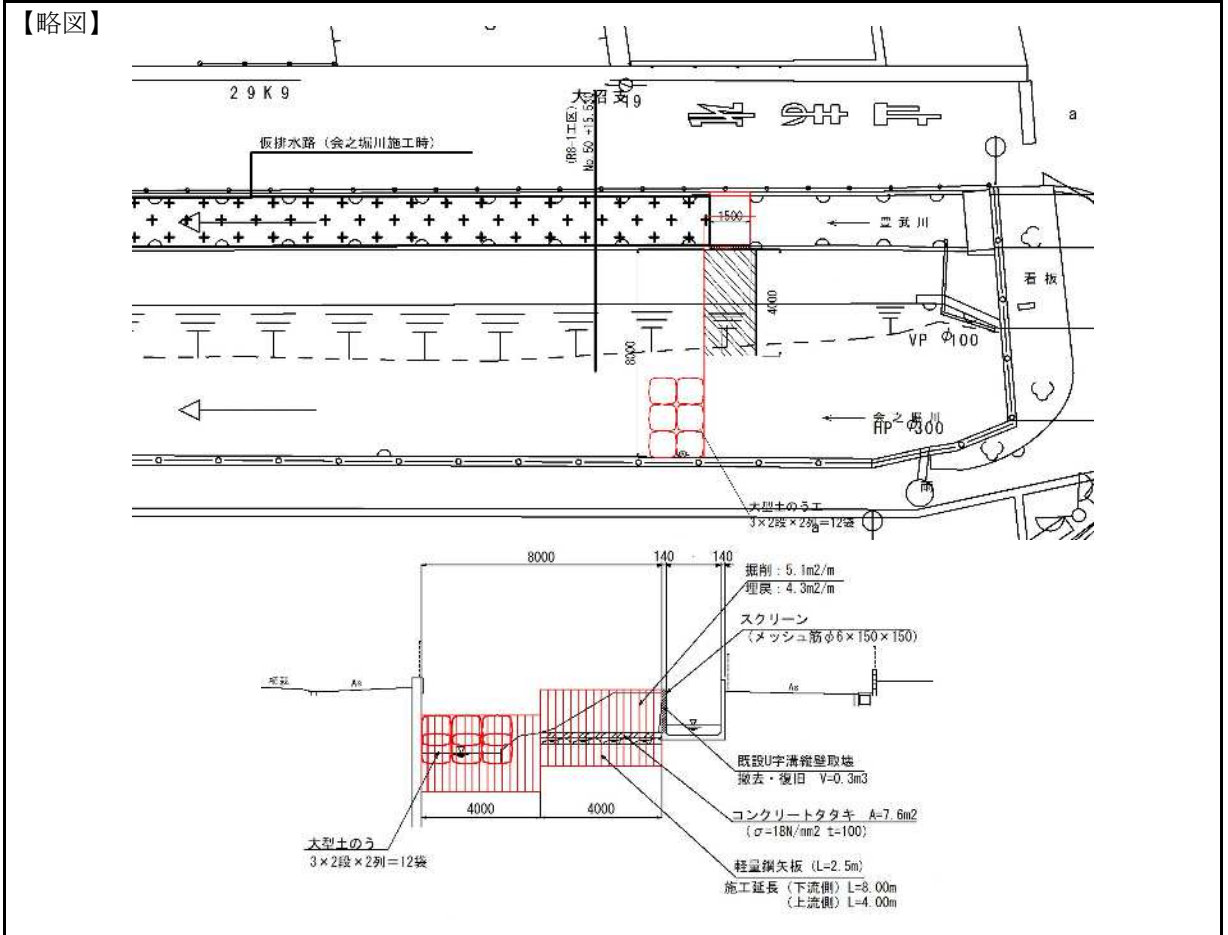
平均高計算書

側 点	床堀			
	距 離 (m)	切断高 (m)	区間 平均高	面積 (m2)
No. 45 +6.230	0.000	3.48		
No. 46 +0.000	13.770	3.51	3.500	48.20
No. 47 +0.000	20.000	3.52	3.510	70.20
No. 48 +0.000	20.000	3.52	3.520	70.40
No. 48 +12.490	12.490	3.52	3.520	43.96
	66.260			232.76
No. 49 +5.200	0.000	3.52		
No. 50 +0.000	14.800	3.50	3.510	51.95
No. 50 +9.100	9.100	3.50	3.500	31.85
	23.900			83.80
合計	90.160	3.51		316.560
1m当り平均高				3.51

付帯工 計算書(4)

仮排水工

1箇所当り



項目	計算式	数量
水路部		
コンクリート取壊	$V = 1.35 \times 1.50 \times 0.14$	= 0.28 m ³
コンクリート殻運搬処分	$V = 0.28$	= 0.28 m ³
	$\frac{m^3}{(ton換算)} \quad \frac{t}{m^3}$ 0.28×2.35	= 0.66 t
掘削工	$V = 5.10 \times 1.90$	= 9.7 m ³
埋戻工	$V = 4.30 \times 1.90$	= 8.2 m ³
軽量鋼矢板 (全損)		
LSP2 L=2.50	$n = 8.00 \div 0.25 + 4 / 0.25$	= 9 枚
	$W = 9 \times 0.0118 \times 2.50$	= 0.27 t
コンクリート工	$V = 7.60 \times 0.10$	= 0.76 m ³
型枠工	$A = 4.00 \times 0.10 \times 2$	= 0.8 m ²
スクリーン (全損)		
網目@150	$A = 1.35 \times 1.50$	= 2.0 m ²
大型土のう	$n = 3 \times 2 \times 2$	= 12 袋
大型土のう設置撤去	$n = 12$	= 12 袋

仮設道路数量計算書

R8工区

工事数量総括表

工事名	仮設道路工						事業区分	工事区分	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(今回)		数量(変更)		数量増減	摘要
				設計数量	設計上数量	設計数量	設計上数量		
仮設道路工									
土工									
掘削		m3	72.0	70					
掘削(夜間)		m3	24.6	20					
残土処分		m3	96.6	100					
舗装版取壊し	厚5cm	m2	157.1	160					
舗装版取壊し(夜間)	厚5cm	m2	141.0	140					
舗装版切削(夜間)	厚3cm	m2	93.4	90					
As殻運搬処分	アスコン(舗装版取壊し)	m3	14.9	15					
As殻運搬処分	アスコン(舗装版切削)	m3	2.8	3					
舗装切断	厚5cm	m	80.9	81					
濁水運搬処分		m3	0.1	0.1					
構造物取壊し									
コンクリート取壊し	無筋	m3	5.3	5					
コンクリート取壊し	有筋	m3	3.9	4					
コンクリート取壊し(夜間)	無筋	m3	4.6	5					
コンクリート取壊し(夜間)	有筋	m3	3.0	3					
廃材処分	無筋コンクリート	m3	9.9	10					
廃材処分	有筋コンクリート	m3	6.8	7					
仮舗装工									
舗装工A型(夜間)	表層工5cm+補足材あり	m2	65.3	70					
舗装工B型	表層工5cm+路盤工28cm	m2	120.4	120					
舗装工C型(夜間)	オーバーレイ	m2	210.2	210					
舗装工D型(夜間)	表層工5cm+路盤工28cm	m2	165.9	170					
区画線工									
実線	(白15cm)	m	229.6	230					
実線	(黄15cm)	m	161.7	160					
実線	(白45cm)	m	43.9	44					
破線	(白15cm)	m	20.0	20					
破線	(白30cm)	m	8.0	8					
記号	(白15cm換算)	m	17.8	18					
区画線消去工									
実線	(白15cm)	m	131.9	132					
実線	(白45cm)	m	30.5	30					
記号	(白15cm換算)	m	12.5	13					

数 量 調 書

数 量 調 書

工 種 (レベル2)	土工・取壊し工	種 別 (レベル3)	
仮設道路土工			
	掘削	土工計算書 (仮設道路)	
		$V = 72.0$	$= 72.0 \text{ m}^3$
	掘削(夜間)	土工計算書 (仮設道路)	
		$V = 24.6$	$= 24.6 \text{ m}^3$
	発生土処理		
		$V = 72.0 + 24.6$	$= 96.6 \text{ m}^3$
	舗装版取壊し	t=5cm	
		$A = 157.1$	$= 157.1 \text{ m}^2$
	舗装版取壊し(夜間)	t=5cm	
		$A = 141.0$	$= 141.0 \text{ m}^2$
	舗装版切削(夜間)	t=3cm	
		$A = 93.4$	$= 93.4 \text{ m}^2$
	As殻運搬処分	舗装版取壊し	
		$V = (157.1 + 141.0) \times 0.05$	$= 14.9 \text{ m}^3$
	As殻運搬処分	舗装版切削	
		$V = 93.4 \times 0.03$ (舗装版切削)	$= 2.8 \text{ m}^3$
	舗装切断	t=5cm	
		$L = 80.88$	$= 80.9 \text{ m}$
	濁水運搬処分		
		$V = 80.88 \times 0.0013$	$= 0.10 \text{ m}^3$

数 量 調 書

工 種 (レベル2)	仮舗装工	種 別 (レベル3)	
	仮舗装工		
	舗装工A型(夜間)	表層5 c m 補足有り・幅1.4m以上～3.0m以下	A = 65.26 (延長調書より) = 65.3 m ²
	舗装工B型	表層5 c m + 路盤 2 8 c m ・幅1.4m以上～3.0m以下	A = 120.44 (延長調書より) = 120.4 m ²
	舗装工C型(夜間)	表層 平均9 c m	A = 210.24 (延長調書より) = 210.2 m ²
	舗装工D型(夜間)	表層5 c m + 路盤 2 8 c m ・幅3.0m以上	A = 165.86 (延長調書より) = 165.9 m ²

数 量 調 書

工 種 (レベル2)	区画線工・区画線 消去工	種 別 (レベル3)	
	区画線工		
		実線白15cm	
	区画線 (1)	L= 229.60 (区画線延長調書より)	= 229.6 m
		実線黄15cm	
	区画線 (2)	L= 161.70 (区画線延長調書より)	= 161.7 m
		実線白45cm	
	区画線 (3)	L= 43.90 (区画線延長調書より)	= 43.9 m
		破線白15cm	
	区画線 (4)	L= 20.00 (区画線延長調書より)	= 20.0 m
		破線白30cm	
	区画線 (5)	L= 8.00 (区画線延長調書より)	= 8.0 m
		記号白15cm換算	
	区画線 (6)	L= 17.82 (区画線延長調書より)	= 17.8 m
	区画線消去工		
		白15cm	
	区画線消去 (1)	L= 131.88 (区画線延長調書より)	= 131.9 m
		白45cm	
	区画線消去 (2)	L= 30.48 (区画線延長調書より)	= 30.5 m
	区画線消去 (3)	記号白(15cm換算) L= 12.50 (区画線延長調書より)	= 12.5 m

延 長 調 書

延 長 調 書

種 別	舗装切断						
測 点				左右	細 別	数量(m)	摘 要
No. 51 + 7.70 ~ No. 51 + 8.80				左	一次	3.08	
No. 49 + 2.40 ~ No. 51 + 8.30				左	一次	4.74	
No. 49 + 4.50 ~ No. 49 + 4.66				右	二次	4.16	
No. 49 + 4.50 ~ No. 49 + 9.48				右	二次	4.98	
No. 49 + 4.66 ~ No. 51 + 13.88				右	二次	49.22	
No. 51 + 13.88 ~ No. 51 + 15.57				右	二次	6.55	
No. 51 + 9.82 ~ No. 51 + 15.57				右	二次	5.75	
No. 51 + 9.80 ~ No. 51 + 9.80				右	二次	2.40	
計						80.88	

延長調書

種 別	舗装撤去工(As5 c m) (夜間)					
	測 点	左右	細 別	数量(m2)	摘 要	
	No. 49 + 5.70 ~ No. 49 + 7.80	右	二次	132.80	夜間	
	No. 49 + 7.80 ~ No. 51 + 9.90	右	二次	8.19	夜間	
計				140.99		

延長調書

種 別	舗装切削工 (As3 c m)						
測 点				左右	細 別	数量(m2)	摘 要
No. 49 + 5.70 ~ No. 51 + 9.90				右	二次	93.35	夜間 平均切削厚t=25mm
計						93.35	

延長調書

種 別	仮舗装工(A型) (As5cm 補足有り・幅1.4m以上～3.0m以下)				
	測 点	左右	細 別	数量(m ²)	摘 要
	No. 49 + 5.70 ~ No. 51 + 9.85	右	二次	65.26	夜間
計				65.26	

延長調書

種 別	仮舗装工(B型)(As5cm、路盤28cm・幅1.4m以上～3.0m以下)				
	測 点	左右	細 別	数量(m ²)	摘 要
	No. 48 + 11.30 ~ No. 49 + 14.50	左	一次	11.68	
	No. 49 + 5.70 ~ No. 51 + 12.50	左	一次	108.76	
計				120.44	

延長調書

種 別	仮舗装工(C型) (As9cmオーバーレイ)									
測 点				左右	細 別	数量(m ²)	摘 要			
							夜間			
No. 49 +	5.70	~	No. 51 +	15.60	右	二次	210.24	平均厚t=93mm		
計							210.24			

延長調書

種 別	仮舗装工(D型) (As5 c m、路盤28 c m・幅3.0m以上)					
測 点	左右	細 別	数量(m ²)	摘 要		
No. 49 + 5.70 ~ No. 51 + 15.60	右	二次	165.86	夜間		
計			165.86			

延長調書

種別	仮設ガードレール設置工					
	測点	左右	細別	数量(m)	摘要	
	No. 42 + 2.00 ~ No. 48 + 14.50	左	三次	130.00	支給品5m 新設5.0×26	
	No. 49 + 4.80 ~ No. 51 + 10.50	左	三次	45.00	(R7年度施工分再利用) 支給品・二次撤去	
計				175.00		

延長調書

種 別	仮設ガードフェンス設置工					
測 点	左右	細 別	数量(m)	摘 要		
No. 42 + 1.60				新設		
No. 48 + 19.90 ~ No. 51 + 9.00	左	二次	64.40	5.0×12+2.4×1+2.0×1		
No. 51 + 7.50 ~ No. 51 + 9.30	左	三次	5.00	新設 5.0×1		
計			69.40			

延長調書

種 別	道路標識撤去工			摘 要	
	測 点	左右	細 別	数量(m)	
	No. 49 + 18.30	左		1.00	①(案内標識)
	No. 51 + 5.60	左		1.00	②(歩行者・自転車通行)
	No. 50 + 16.50	右		1.00	③(街区案内板)
	No. 51 + 5.60	右		1.00	④(歩行者・自転車通行)
計				4.00	小 2

延長調書

種 別	道路照明等撤去	左右	細 別	数量(基)	摘 要
No. 51 +	5.20	右		1.00	引込柱
計				1.00	

延長調書

種別	信号機移設工			摘要
測点	左右	細別	数量(基)	摘要
No. 53 + 7.30	左	一次	1.00	制御器改造
No. 51 + 9.50	右	二次	1.00	信号移設
計			1.00	

延長調書

種 別	区画線(実線白15c m)					
	測 点	左右	細 別	数量(m)	摘 要	
	No. 47 + 9.00 ~ No. 48 + 14.20	左	一次	26.30		
	No. 49 + 4.00 ~ No. 49 + 19.00	左	一次	15.00		
	No. 49 + 3.70 ~ No. 49 + 19.80	右	一次	16.40		
	No. 47 + 7.50 ~ No. 51 + 9.80	左	二次	82.30		
	No. 47 + 13.50 ~ No. 51 + 10.20	右	二次	89.60		
計					229.60	

延長調書

種別	区画線(実線黄15cm)					
測点		左右	細別	数量(m)	摘要	
No. 47 +	11.20 ~	No. 51 +	9.50	中央	一次	79.00
No. 47 +	7.50 ~	No. 51 +	10.20	中央	二次	82.70
計						161.70

延長調書

種別	区画線(実線白45cm)				
測点	左右	細別	数量(m)	摘要	
No. 51 + 3.90 ~ No. 51 + 4.80	左	一次	7.00	停止線W=90cm	
ふじ通り	右	一次	6.00	停止線W=90cm	
No. 51 + 0.50 ~ No. 51 + 1.40	左	二次	7.00	停止線W=90cm	
No. 47 + 9.00 ~ No. 48 + 14.20	右	二次	11.90	横断歩道W=45cm 1.7×7	
No. 51 + 10.40 ~ No. 51 + 14.40	右	二次	12.00	横断歩道W=45cm 4.0×3	
計			43.90		

延長調書

種別	区画線(破線白15cm)					
	測点	左右	細別	数量(m)	摘要	
	No. 51 + 16.70 ~ No. 52 + 15.70	中央	一次	10.00	1.0×10	
	No. 51 + 16.70 ~ No. 52 + 15.70	中央	二次	10.00	1.0×10	
計				20.00		

延長調書

種 別	区画線(破線白30 c m)							
測 点				左右	細 別	数量(m)	摘 要	
No. 48 +	15.30	~	No. 49 +	2.30	左	一次	4.00	1.0×4
No. 48 +	16.20	~	No. 49 +	2.80	右	一次	4.00	1.0×4
計							8.00	

延長調書

種 別	区画線(記号白15cm換算)			
	測 点	左右	細 別	数量(m)
				8.91×2=17.82
	ふじ通り	左	二次	17.82
				直進・左折
計				17.82

延長調書

種 別	区画線消去(15 c m)						
	測 点		左右	細 別	数量(m)	摘 要	
No. 47 +	11.20 ~	No. 48 +	14.20	左	一次	25.20	白
No. 47 +	9.00 ~	No. 48 +	14.20	中央	一次	35.68	黄
No. 47 +	9.00 ~	No. 48 +	14.20	左	一次	8.00	白30cm
No. 47 +	9.00 ~	No. 48 +	14.20	右	一次	6.00	白30cm
No. 51 +	16.70 ~	No. 52 +	15.70	中央	二次	10.00	白
No. 47 +	11.20 ~	No. 48 +	11.20	中央	二次	20.00	黄
No. 48 +	16.20 ~	No. 49 +	2.80	右	二次	4.00	白30cm
No. 47 +	13.50 ~	No. 48 +	16.40	右	二次	23.00	白
計						131.88	

延長調書

種別	区画線消去(45cm)					
	測点	左右	細別	数量(m)	摘要	
	No. 51 + 3.90 ~ No. 51 + 4.80	左	一次	7.00	停止線W=90cm	
	ふじ通り	右	一次	6.00	停止線W=90cm	
	No. 47 + 9.00 ~ No. 48 + 14.20	右	二次	12.05	1.6×7+0.85 横断歩道W=45cm	
	No. 51 + 17.20 ~ No. 52 + 10.30	右	二次	5.43	n=15 0.061~0.589m 横断歩道W=45cm	
	計			30.48		

延長調書

種 別	記号白15cm換算消去			
測 点	左右	細 別	数量(m)	摘 要
				6.25×2=12.5
ふじ通り			12.50	直進
計			12.50	

土工計算書 (仮設道路)

側 点	掘削						
	距 離 (m)	平 均 幅 (m)	断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	平 均 深 さ	体積 (m ³)	
step1 No. 49 +2.40	0.00					0.000	
step0 No. 49 +8.50	6.10	5.23			0.31	1.641	
step1 No. 49 +8.50	0.00		1.75			0.00	
step1 No. 50	11.50		1.75	1.75		20.13	
step1 No. 51	20.00		1.79	1.77		35.40	
step1 No. 51 +8.30	8.30		1.79	1.79		14.86	
					合計	72.023	
step2 No. 49 +7.80	0.00		0.44			0.00	夜間
step2 No. 50	11.20		0.44	0.44		4.93	夜間
step2 No. 50 +0.70	0.70		0.66	0.55		0.39	夜間
step2 No. 51	19.30		0.66	0.66		12.74	夜間
step2 No. 51 +9.90	9.90		0.66	0.66		6.53	夜間
					合計	24.59	夜間
合計	80.90					96.61	

撤 去 数 量 計 算

取壊し計算書 (左側)

工種	細別	数量	単位	無筋構造物		鉄筋構造物		鉄筋構造物		掘削土量:控除		スクラップ		備考
				取壊し+廃材処理 単位数量	数量(m3)	取壊し+廃材処理 単位数量	数量(m3)	単位数量	数量(m3)	単位数量	数量(t)			
コンクリート 取壊し	L型街渠撤去工 (A型)	41.00	m	0.092	3.77	0.063	2.58							
	L型街渠撤去工 (B型)	15.10	m	0.092	1.39	0.016	0.24							
	L型街渠撤去工 (C型)	1.20	m	0.092	0.11	0.040	0.05							
	植樹ブロック 撤去工	42.80	m			0.023	0.98							
計					5.27		3.85							

延長調書

種 別	歩車道境界去工A型					
	測 点	左右	細 別	数量(m)	摘 要	
	No. 49 + 7.80 ~ No. 49 + 8.80	右		1.10		
	No. 50 + 1.00 ~ No. 51 + 9.90	右		28.90		
計				30.00		

延長調書

種別	歩車道境界去工B型					
測点		左右	細別	数量(m)	摘要	
No. 49 +	5.70 ~	No. 49 +	7.20	右		2.00
No. 49 +	9.40 ~	No. 50 +	0.40	右		11.00
No. 51 +	10.70 ~	No. 51 +	15.60	右		5.30
計						18.30

延長調書

種 別	歩車道境界去工C型					
	測 点	左右	細 別	数量(m)	摘 要	
	No. 49 + 7.20 ~ No. 49 + 7.80	右		0.60		
	No. 49 + 8.80 ~ No. 49 + 9.40	右		0.60		
	No. 50 + 0.40 ~ No. 50 + 1.00	右		0.60		
計				1.80		

延長調書

種 別	歩車道境界去工A型					
測 点		左右	細 別	数量(m)	摘 要	
No. 49 +	7.90 ~	No. 51 +	8.90	左	41.00	
計					41.00	

延長調書

種 別	歩車道境界去工B型					
	測 点	左右	細 別	数量(m)	摘 要	
	No. 48 + 13.50 ~ No. 48 + 14.50	左		3.50		
	No. 49 + 2.40 ~ No. 49 + 7.30	左		7.80		
	No. 51 + 9.50 ~ No. 51 + 12.50	左		3.80		
計				15.10		

延長調書

種 別	歩車道境界去工C型					
測 点		左右	細 別	数量(m)	摘 要	
No. 49 +	7.30 ~	No. 49 +	7.90	左	0.60	
No. 51 +	8.90 ~	No. 51 +	9.50	左	0.60	
計					1.20	

延長調書

種 別	植樹帯ブロック撤去工						
測 点				左右	細 別	数量(m)	摘 要
No. 50 +	0.70	～	No. 50 +	0.70	右	1.64	
No. 50 +	0.85	～	No. 51 +	9.70	右	28.85	
No. 51 +	9.85	～	No. 51 +	9.85	右	1.64	
計						32.13	

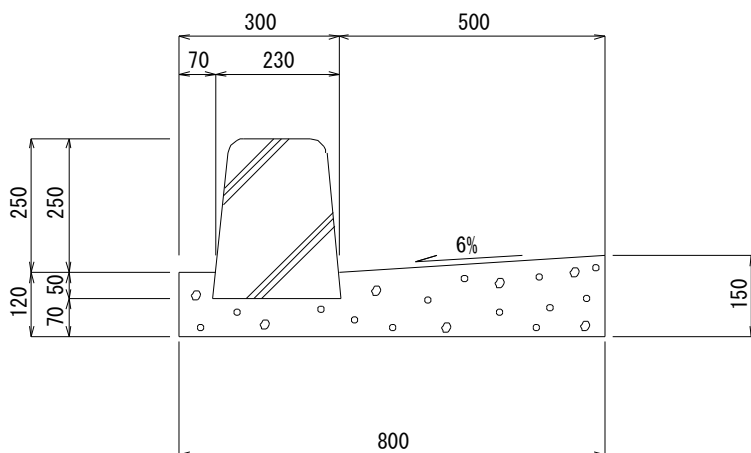
延長調書

種別	植樹帯ブロック撤去工						
測点				左右	細別	数量(m)	摘要
No. 49 +	8.50	～	No. 49 +	8.50	左	1.65	
No. 49 +	8.65	～	No. 51 +	8.15	左	39.50	
No. 51 +	8.30	～	No. 51 +	8.30	左	1.65	
計						42.80	

材 料 計 算 書

L型街渠撤去工(A型)

10 m当たり



撤去数量

10m当り

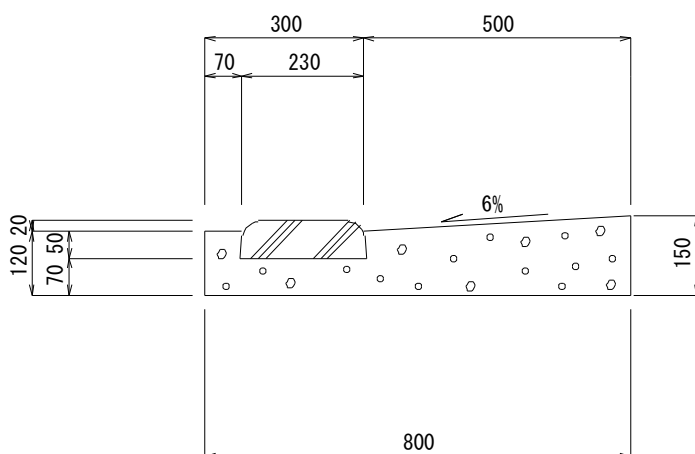
名 称	規格寸法	単 位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	180×240×300×600	m ³	0.63	L=600
コンクリート	無筋	m ³	0.92	

種 別	算 式	単 位	数 量
コンクリート壊し 鉄筋コンクリート	$V =$ $=$	m ³	0.63
無筋コンクリート	$V =$ $=$	m ³	0.92
廃材処理	鉄筋コンクリート	m ³	0.63
	無筋コンクリート	m ³	0.92

材 料 計 算 書

L型街渠撤去工(B型)

10 m当たり



撤去数量

10m当り

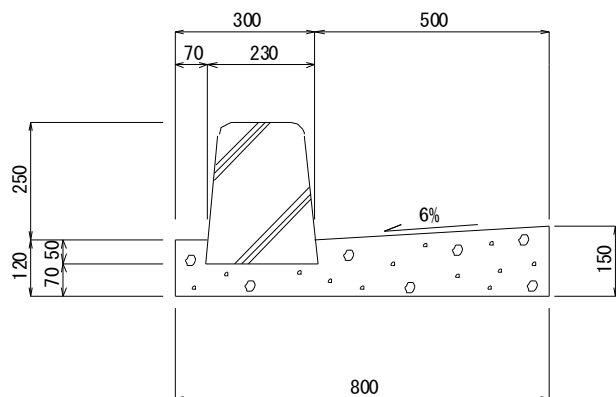
名 称	規格寸法	単 位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	切下ブロック 226×240×70×600	m ³	0.16	L=600
コンクリート	無筋	m ³	0.92	

種 別	算 式	単 位	数 量
コンクリート壊し 鉄筋コンクリート	$V =$ $=$	m ³	0.16
無筋コンクリート	$V =$ $=$	m ³	0.92
廃材処理	鉄筋コンクリート	m ³	0.16
	無筋コンクリート	m ³	0.92

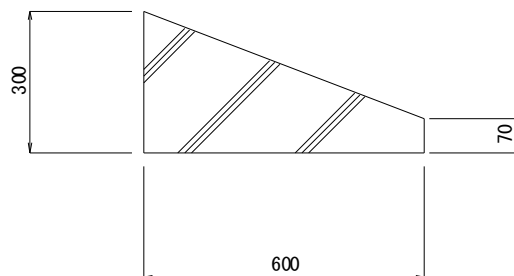
材 料 計 算 書

L型街渠撤去工(C型)

10 m当たり



端末ブロック側面図



撤去数量

10m当り

名 称	規格寸法	単 位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	端末ブロック180×240×70/300×600	m ³	0.40	L=600
コンクリート	無筋	m ³	0.92	

種 別	算 式	単 位	数 量
コンクリート壊し 鉄筋コンクリート	$V =$	$=$ m ³	0.40
無筋コンクリート	$V =$	$=$ m ³	0.92
廃材処理	鉄筋コンクリート	m ³	0.40
	無筋コンクリート	m ³	0.92

樹 木 撤 去

延長調書

種 別	中木撤去工	左右	細 別	数量(本)	摘 要
	測 点				
No. 50 +	3.70	右		1.00	
No. 50 +	9.00	右		1.00	
No. 50 +	13.00	右		1.00	
No. 50 +	15.00	右		1.00	
No. 51 +	7.50	右		1.00	
計				5.00	

延長調書

種 別	中木撤去工				
	測 点	左右	細 別	数量(本)	摘 要
No. 49 +	14.80	左		1.00	
計				1.00	

延長調書

種 別	低木撤去工					
測 点		左右	細 別	数量(m ²)	摘 要	
No. 50 +	0.85 ~	No. 51 +	9.70	右	47.31	
計					47.31	

延長調書

種 別	低木撤去工					
測 点		左右	細 別	数量(m ²)	摘 要	
No. 49 +	8.65 ~	No. 51 +	8.15	左	65.18	
計					65.18	

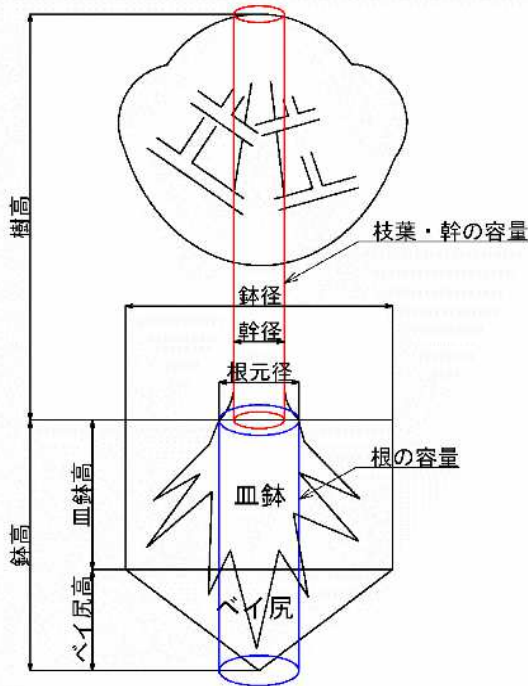
延長調書

種 別	伐根撤去工				
	測 点	左右	細 別	数量(本)	摘 要
	No. 50 + 10.20	左		1.00	
	No. 51 + 5.00	左		1.00	
	計			2.00	

樹木重量(高木) 単位材料表

100本当たり

【略図】



幹径 = 幹周 / 3.14
 根元径 = 幹径 × 1.5
 鉢径 = 24cm + (根元径 - 3cm) × 4
 皿鉢高 = 12cm + (根元径 - 3cm) × 1.5
 ベイ尻高 = 鉢径 / 4
 ※出典：造園施工管理技術編p230

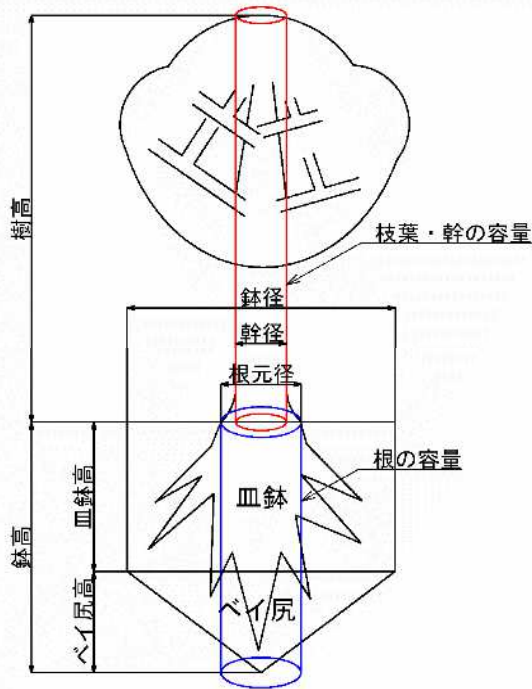
上図の赤で示した範囲を枝葉・幹、青で示した範囲を根の体積とする。

項目	計算式	数量
樹高	= 1200 cm	
幹径	$120 / \pi$ = 38 cm	
根元径	38×1.5 = 57 cm	
鉢径	$24 + (57 - 3) \times 4$ = 240 cm	
皿鉢高	$12 + (57 - 3) \times 1.5$ = 93 cm	
ベイ尻高	$240 / 4$ = 60 cm	
枝葉・幹の容量	$\pi / 4 \times 0.38^2 \times 12.00 \times 100$ = 136.1 m ³	
根の容量	$\pi / 4 \times 0.57^2 \times (0.93 + 0.60) \times 100$ = 39.0 m ³	
	合計	175.1 m ³
樹木処分量		
枝葉・幹	$V = 136.1 \times 0.8 \text{ t/m}^3 = 108.9 \text{ t}$	108.9 t
根	$V = 39.0 \times 0.8 \text{ t/m}^3 = 31.2 \text{ t}$	31.2 t

樹木重量(中木) 単位材料表

100本当り

【略図】



幹径 = 幹周 / 3.14
 根元径 = 幹径 × 1.5
 鉢径 = 24cm + (根元径 - 3cm) × 4
 皿鉢高 = 12cm + (根元径 - 3cm) × 1.5
 ベイ尻高 = 鉢径 / 4
 ※出典：造園施工管理技術編p230

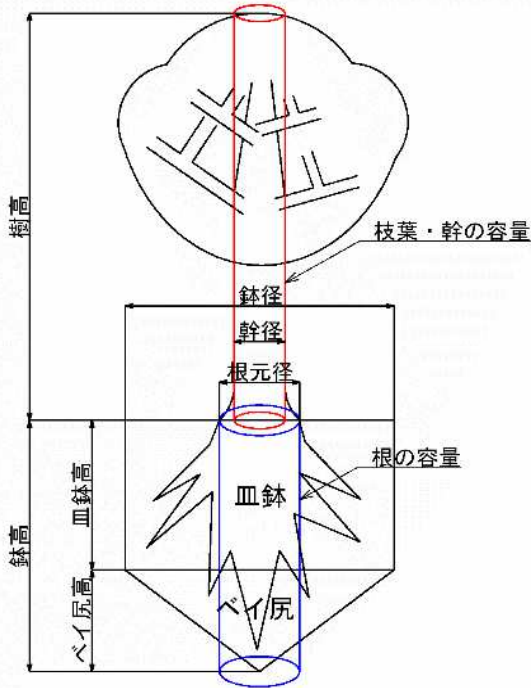
上図の赤で示した範囲を枝葉・幹、青で示した範囲を根の体積とする。

項目	計算式	数量
樹高	= 250 cm	
幹径	$45 / \pi$ = 14 cm	
根元径	14×1.5 = 21 cm	
鉢径	$24 + (21 - 3) \times 4$ = 96 cm	
皿鉢高	$12 + (21 - 3) \times 1.5$ = 39 cm	
ベイ尻高	$96 / 4$ = 24 cm	
枝葉・幹の容量	$\pi / 4 \times 0.14^2 \times 2.50 \times 100$ = 3.8 m ³	
根の容量	$\pi / 4 \times 0.21^2 \times (0.39 + 0.24) \times 100$ = 2.2 m ³	
	合計	6.0 m ³
樹木処分量		
枝葉・幹	$V = 3.8 \times 0.8 \text{ t/m}^3 = 3.0 \text{ t}$	3.0 t
根	$V = 2.2 \times 0.8 \text{ t/m}^3 = 1.8 \text{ t}$	1.8 t

樹木重量(低木) 単位材料表

100本当り

【略図】



幹径 = 幹周 / 3.14
 根元径 = 幹径 × 1.5
 鉢径 = 24cm + (根元径 - 3cm) × 4
 皿鉢高 = 12cm + (根元径 - 3cm) × 1.5
 ベイ尻高 = 鉢径 / 4
 ※出典：造園施工管理技術編p230

上図の赤で示した範囲を枝葉・幹、青で示した範囲を根の体積とする。

項目	計算式	数量
樹高	= 70 cm	
幹径	$15 / \pi$ = 5 cm	
根元径	5×1.5 = 8 cm	
鉢径	$24 + (8 - 3) \times 4$ = 44 cm	
皿鉢高	$12 + (8 - 3) \times 1.5$ = 20 cm	
ベイ尻高	$44 / 4$ = 11 cm	
枝葉・幹の容量	$\pi / 4 \times 0.05^2 \times 0.70 \times 100$ = 0.1 m ³	
根の容量	$\pi / 4 \times 0.08^2 \times (0.20 + 0.11) \times 100$ = 0.2 m ³	
	合計	0.3 m ³
樹木処分量		
枝葉・幹	$V = 0.1 \times 0.8 \text{ t/m}^3 = 0.1 \text{ t}$	0.1 t
根	$V = 0.2 \times 0.8 \text{ t/m}^3 = 0.2 \text{ t}$	0.2 t

